

早稲田大学 文学部 世界史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問は9問構成で今年も踏襲された。小問の総数は2015年の41問から2016年は37問に減少し2017年も37問だった。今年は3問増加して40問となり、そのうち記述式は2015年の8問から2016年は12問に増加し、2017年も同じ12問だった。今年は2問減って10問となった。小論述は2015年まで続いた文章完成式方式ではなく2016年と同じ独立した説明問題。字数は2016年の40字、2017年の50字から大幅に長くなり120字となった。やや難化。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	都市革命と古代オリエント世界	設問1は「西アジアの初期農耕民」についてであるから、乾地農法・略奪農法でなければいけない。イの「灌漑農耕」ウの「青銅器」は論外。エの「ウマ」「ウシ」は誤り。設問2:最古の文字発見地は難しい。エの「バビロン」は除外される。ウルとウルクはシュメールの都市国家としてはラガシュと並ぶ代表格。エリドゥはウル南東にあるシュメール時代の都市遺跡だが高校レベルではない。正解はウルクで前3100年頃さとれる楔形文字が出土している。設問3の「文字を持たなかった文明」のインカは易しい。同じ新大陸の文明でもマヤは文字用いている。設問4:記述式のメンフィスは易しい。	標準
II	中国漢代の対外関係	設問1は「烏孫」。張騫の第1回西使は現在のアフガニスタン方面にあった大月氏へ匈奴挾撃の提案に、2回目は天山山脈の北からイリ地方の烏孫に使いした。目的は河西回廊への誘致であった。設問2:④-大秦王安敦の使者と称するものが到達したのは「南海郡」ではなくベトナム中部の「日南郡」である。設問3:④-帯方郡が設置されたのは3世紀初で後漢の末にあたる。設問4:②「桑弘羊」は細かいが山川用語集の説明文には登場している。設問5:①-『論語』は五経ではなく四書のひとつ。	標準
III	非漢族系国家の文字と文化	設問1:アの「猛安・謀克」は女真人や契丹人など部族民が対象。イは誤り。元の中国支配を想起すればよい。ウのカラハン朝は11世紀に東西に分裂し、東カラハン朝は西遼に、西カラハン朝はホラズム＝シャー朝に滅ぼされた。ここは西遼と西夏を混同しさえしなければよい。設問2:ウ-タラス河畔で唐と戦ったのはアッバース朝。設問3:ア-契丹文字には大字と小字があり、大字は漢字を、小字はウイグル文字をベースにして作成された。設問4:イ-陳朝(1225～1400)は3回に及ぶモンゴル帝国・元の遠征をことごとく撃退した。設問5:『授時暦』。作者の郭守敬とともに重要事項である。設問6:後金または金。1616年建国とあるので1636年以降の国号「清」は不可。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
IV	クルド人関係史	設問1:アイユーブ朝は基礎事項。設問2:イ-アンカラの戦い(1402)ではオスマン帝国が敗北しバヤジット1世は捕虜となった。設問3:ウはいわゆる「アラブの覚醒」と呼ばれる文芸復興運動。シリア(「歴史的シリア」(現在のシリアにレバノン・ヨルダン・パレスチナを加えた地域))でおこった。ア-ギリシア独立は「ベルリン会議」ではなく「ロンドン会議」。イ-墺がボスニア・ヘルツェゴヴィナの行政権を得たのは「ベルリン条約」。設問4:エジプト=トルコ戦争(1831~33/1839~40)でムハンマド=アリーは優勢であった。しかし、列強の介入によってシリア獲得はならず、オスマン帝国宗主権下でエジプト総督の世襲権を得るにとどまった。設問4:セーヴル条約(1920)は基礎事項。設問5:エ-「国連決議に基づいて」が誤り。湾岸戦争(1991)の際は国連決議に基づいていたがイラク戦争は決議なしで米英が強行した。	標準
V	中世ヨーロッパにおける宗教的動機による戦争・暴力	設問1:ロの救援要請はビザンツ皇帝アレクシオス1世(位1081~1118)からのもの。設問2:「フリードリヒ1世」はやや細かいが第3回十字軍以外にもレニャノの戦い(1176)でロンバルディア同盟軍に敗れるなどイタリア政策でも名前が出る人物。仏王フィリップ2世・英王リチャード1世とセットにしておさえておきたい。設問3:「ナスル朝(1232~1492)」は頻出事項。設問4:ロのセルビアは「カトリック」ではなく「正教会」。ハ-ハンガリー初代の王は「イシュトバーン1世(位997~1038)。バーツラフ1世(位921~29)はボヘミア王。ニ-リトアニアとポーランドの同君連合成立は1386年。14世紀である。設問5:ロのフランチェスコ会公認は「インノケンティウス3世」。	標準
VI	帝国主義時代の英	設問1:ロ「バルカン戦争(1912.10~13.5/1913.6~8)は20世紀初めの戦争。設問2:イ-ドレイク周航(1577~80)→ジェームズタウン建設=ヴァージニア植民地建設(1607)→メイフラワー号=プリマス植民地建設(1620)→ニューアムステルダム獲得(1664)の順となる。ジェームズタウンがヴァージニアとわかればふつうの問題だが知らないとなし。設問3:ニのペンシルヴェニアは易しい。独立戦争時の最重要都市フィラデルフィアがペンシルヴェニアだったことも大切。設問4:昨年の50字から倍増した120字小論述。問題文の設定が「20世紀初頭」なので19世紀末の経緯には触れず、アイルランド自治法の大戦による延期(1914.9)→反発したシン=フェイン党がイースター蜂起(1916.4)→アイルランド独立宣言(北アイルランドを除く)(1919.1.)の流れ。「北アイルランド」を生かすにはプロテスタント系の多い北アイルランドが自治法そのものに反対していたことに触れ、自治法がアイルランドの南北分断の契機となったことを示す。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
VII	戦間期の西欧	設問1：ニ-戦時共産主義(ネップ)(1918～21)実行はスターリンではなくレーニン。設問2：イ-ハンガリー革命(指導者クン=ベラ)(1918～19)は仏に支援されたルーマニアの干渉と農民の非協力で挫折している。ローティトーはパルチザンの指導者。王国建国はセルビア王アレクサンダル1世。エ-ブルガリアは敗戦国として広大な国土を失った。設問3：イのラパロはジェノヴァ郊外の地。設問4：フランス人民戦線内閣の首相ブルムは重要人物。人民戦線の指導者としてはスペインのアサーニャと並ぶ二枚看板である。設問5はラインラント進駐(1936.3)がわかれば二択となり簡単である。設問6：イスラエル建国(1948.5)が先頭とわかるので即答できる。	易
VIII	ジャポニズムの諸相	近現代西欧美術は頻出分野。昨年フェルメール・レンブラント、そして印象派からモネが出題された。今年の問題は画家の様々な属性ではなく、作品から直答させるものなので絵画作品自体を知らないときつい。マネの「笛を吹く少年」が一般的だがそれ以外は厳しい。「ダンギー爺さん」はその画風からゴッホを想起できればいいが、できないときつい。「サント=ヴィクトワール山(と松の木)」は難問。	難
IX	岡本太郎「明日の神話」と第五福竜丸事件	設問1の年代は50年代の選択肢が一つしかないので選びやすい。設問2：第五福竜丸は重要事項。	易

[総合コメント]

現在の早大文学部は文化構想学部とはいわば双子の関係で、かつての第一文学部と第二文学部を再編して生まれた。そのため入試傾向も非常に似ていて早大の他学部と比べると驚くほど簡単な問題が出されていた。しかし、近年文学部の問題は確実に難化していて難問が目立つようになった。とくに美術史は毎年出題され、以前は西洋が中心だったが間もなく中国文化になり、去年は西洋と中国の両方から、今年は再び西欧に一本化された。一昨年の写真は山川出版社『詳説世界史B』そのまま、去年も教科書で定番の「清明上河図」だった。今年もセザンヌのマイナー(受験世界史としては)な作品などが対象で一般的な受験対策では対応できなかった。対策としては月並になるが教科書の写真は丁寧にチェックし、さらに図説類で補強するしかない。ておかないといけない。地図問題は去年に続き出題されなかった。説明問題は去年の50字から120字と字数が増加した。以前の文章の中に埋め込まれた形式は過去形になりつつあるようだ。100字程度の論述問題は早稲田だと商学部、他大では明治や法政・学習院などに類題が多いのでそこから近現代の問題を選んで演習すると効果的である。また、文章正誤判定問題のキーワードに非常に細かい事象が選ばれているケースが増えている。単純なようだが、教科書はもちろん、用語集の類も徹底的に読み込まないと高得点は望めない。その一方で基本的事項を問う問題もまだまだ多い。こちらでは初歩的ミスを犯さないよう細心の注意が求められる。正誤判定問題の雰囲気は文化構想学部を除く早大文系学部と似てきている。文学部対策としては過去問より他学部の問題を大量に解く方が効果ある。